

育成会たより

第9号

2014 JULY

つなぐを

題字：枇榔 シヅ子さん



編集・発行 社会福祉法人 鹿児島市手をつなぐ育成会

〒 891-0102 鹿児島市星ヶ峯 2-1-1 鹿児島市知的障害者福祉センター 2F (ふれあい館)

Tel・Fax 099-264-8725

希望の園／育成センターコスモス／第二コスモス／とまと／ふもと／さくらんぼホーム／すみれホーム
さくらホーム／きぼう学舎／わくわくコスモス
ホームページアドレス <http://tewotsunagu.org/>



鹿児島市手をつなぐ育成会総会 (ふれあい館)



ふれあいつ

理事長 宮ヶ原 幸男

今年 は鹿児島市手をつなぐ育成会が発足して五十周年を迎えました。この記念すべき年の秋季に会員並びに関係者が一堂に会し、市内のホテル等を利用して、「豊かで温もりに満ちた共生社会をめざそう！」を大会スローガンに、記念式典・祝賀会、記念シンポジウム、記念誌の発行等の記念事業を行うことにしています。

さて、昨年は市育成会の「将来構想」(大綱)を策定し、早速、新規事業の実施に取り組んでいます。その内容は、特別支援学校等の保護者から強い要望のありました放課後等デイサービス事業を「わくわくコスモス」と「きぼう学舎」で開始し、更に、早期療育が必要な未就学幼児の児童発達支援事業も前者で開設いたしました。このほか学齢期保護者並びに家族会の研修内容の充実や職員の資質向上と活性化を図るため、定期の人事異動や全体研修、専門分野別研修、職員による施設間交流等を行っています。

また、育成センターコスモスでは築業棟が完成し陶芸品作りが始まっています。

本年度は法人本部の体制整備やグループホームの整備に向けた土地取得を検討中で、懸案となっていた施設の経理事務の一元化と新会計システムへの移行は既に完了し稼働しています。

市育成会は、今後とも会員の気持を大切に障害児・者が安心して生活できる社会を実現するために、役員が一丸となって諸事業に取り組んでまいります。今後共、会員各位の御支援、御協力をお願いします。

育成会全体研修会

六月八日(日)にふれあい館体育館にて、全職員を対象とした育成会全体研修会を開催いたしました。研修の主目的は、障害者総合支援法に於ける平成二十六年四月から施行された事項についての理解を深めるといふものでした。社会福祉法人落穂会「あさひが丘学園」統括施設長 水流 純大 様を講師に迎え、施行された多くの事項の中から、利用者様に支援サービスを提供する上で必要不可欠であろう項目を選び解りやすく解説していただきました。そのうちのひとつ、障害程度区分から障害支援区分への見直しについての説明では、これまで指摘されていた問題点の改善を図ったものであり、より知的障害者や精神障害者のもつ多様な特性、その他心身の状態に応じて必要とされる支援の度合いを総合的に示せるものになったとのことでした。また、障害支援区分では区分の判定方法の再構築がなされ、追加・統合・選択肢の統一等により、今までの一〇六項目から八〇項目に見直されたとのことでした。この他にも、グループホームとケアホームの一元化について、報酬単価の見直しについて等々、興味深い内容の説明を頂きました。この場をお借りして、講師の先生には改めまして御礼を申し上げます。



全体研修では理事長より施設職員としての職責感、利用者支援のあり方等の講話、また各施設長からは、事業所における運営方針等の講話も頂きました。勤務の都合により参加できなかった職員もいましたが、参加した職員皆がそれぞれ学びを深めることのできた研修になったことと思います。

育成会研修部

認定調査項目の見直し(106項目→80項目)

①認定調査項目の追加

○特に、知的障害、精神障害や発達障害の特性をより反映するため、以下の認定調査項目(6項目)を追加。

Table with 2 columns: 新規 (New) and 内容 (Content). Rows include: 健康・栄養管理, 危険の認識, 読み書き, 感覚過敏・感覚鈍麻, 集団への不適切, 多飲水・過飲水.

※その他、既存の認定調査項目における評価内容(評価範囲)の見直しを実施。(以下、主な見直し項目を例示。)

Table with 2 columns: 内容 (Content) and 評価 (Evaluation). Rows include: 食事, 行動上の障害.

②認定調査項目の統合・削除

○認定調査時における障害者等の負担軽減を図るため、評価が重複する認定調査項目等を統合(14項目→7項目)・削除(25項目)

Table with 2 columns: 統合 (Integration) and 削除 (Deletion). Rows list various activities and items being merged or removed.

③判断基準の見直し

○「できたりできなかつたりする場合」の「できない場合(支援が必要な場合)」を評価するため、判断基準を見直す。

Table with 2 columns: 判断基準 (Criteria) and 評価 (Evaluation). Rows describe criteria for 'cannot do' and 'cannot do (support needed)' and the evaluation process.

- ・当日の資料から抜粋いたしました。
・詳しい資料をご覧になりたい方は、厚生労働省のホームページをご覧ください。

平成二十六年
市育成会総会被表彰者一覧



安楽 真也 様
(あゆみ会)



田畑 英隆 様
(あゆみ会)



余吾 春菜 様
(希望の園)
中池 豪 様
(希望の園)
谷山 寛和 様
(希望の園)



西口 利治 様
(ふもと)



石野 照子 様
(さをり工房つえ〜心)



松元ひとみ 様
(さをり工房つえ〜心)



福島 知博 様
(育成センターノエミス)



佐藤 哲治 様
(とまごのぞみ園)

今井 辰彦 様
(とまごのぞみ園)

保護者

○長濱 いづ子 様
(ふもと)

○吉田 和栄 様
(ふもと)

学校関係者

○有田 研二 様
(県立武岡台養護学校)

○肥口 美代子 様
(県立武岡台養護学校)

○初村 多津子 様
(鹿大教育学部 附属特別支援学校)

特別功労者

○田上会代表 原田 陽子 様
(のぞみ学園ボランティア団体)

○前田 加代子 様
(さをり工房つえ〜心職員)

○窪 マリ子 様
(鴨池すくすく学級ボランティア)

○湯脇 郁代 様
(のぞみ学園音楽講師)

表彰状をもらったこと

あゆみ会

山口 直美 様

私は、高等部を卒業してからお菓子屋で働きました。十九年間箱作りやお菓子の選別に頑張りました。

今は、ワークステージつばさで働いています。クリーニングの仕事です。洗たくしたタオルをたたんだり、エプロンをきれいに広げたりしています。仕事は、朝九時から十六時までです。時には残業もあります。つばさが休みの時、ふれあい館のデイサービスにも行っています。

今度、私は総会で表彰状と記念品をもらいました。もらうときは、とてもきれいになりました。うれしかったです。これからも仕事をがんばりたいです。



育成会五十周年記念事業について

事務局長 本田 義己

鹿児島市手をつなぐ育成会は、昭和三十九年五月に「鹿児島市精神薄弱者育成会」として発足し、今年で五十周年を迎えることとなります。

五十年前は、第一回目の東京オリンピックが行われた年であり、高度経済成長期の真只中の時代でした。

この間、育成会は親の会を母体として、子どもたちの幸せを求めて様々な活動を展開してまいりました。

親も子も皆若く、熱いころざしを持って街頭広報活動や愛のひとしづく運動（ハンカチ等販売）、会員確保等に一丸となって取り組み、その運動の成果として地域の中で安心して暮らせる社会が実現出来つつあることは、親の会として喜ばしい限りであります。

しかし、現在もなお障害者施策の確立に向けて、解決すべき様々な課題があり、仲間と共にこれからも運動を展開してまいらなければなりません。

このようなことから、五十周年に当たる本年、本人及び保護者等の会員並びに関係者が一堂に会し、みんなが地域社会において、今後とも安心して豊かに暮らせる共生社会を目指すとともに、育成会のますますの発展を祈念し、次のとおり、様々な事業を計画しております。皆様方のご協力を心よりお願い申し上げます。

一 記念式典・祝賀会 十月二十五日（土）午前十一時から十四時

城山観光ホテル エメラルドホール

二 記念シンポジウム 十二月十三日（土）午後十三時三〇分から十五時三〇分

鹿児島市知的障害者福祉センター（ふれあい館）

三 記念誌発行 平成二十七年三月発行を予定しております。

事業所紹介

新たな取組

希望の園

サービスマネジメント責任者 森山 貴

今年度の希望の園は、新たに二名の仲間が加わり、生活介護十三名、就労継続支援B型十三名の計二十六名でスタートしました。また、昨年暮開始の放課後等デイサービスや、二年目の相談支援事業も、共により一層の充実が求められる年となりました。

そんな中、利用者の皆様も、そして職員も一緒に楽しめる活動に昨年から取り組んでいます。それは「調理」です。一回目は「カレー」作りに挑戦。

ただ作るだけでなく、N、S、C、I、T、Yニシムタでの材料買い出し、カレーにのせるトッピング選びと楽しいことが盛り沢山。五月に行った調理活動は「白玉だんごパフェ」作り。団子を丸めて、フルーツをのせると、わいわいガヤガヤ作ってよし、食べてよしでした。レシピも家庭にお配りし、家庭で作った方もいらしたようでした。

「楽しむ」ことを忘れずに、これからもいろいろな活動に取り組んでいきたいと思えます。



新たな取組

育成センターコスモス

サービスマネジメント責任者 内村 勝志

四月から新しく一名をお迎えし、利用者様の数が計四〇名となりました。新型マイクロボスも稼働を開始し、利用者様は、友人や職員との活動を楽しみに、毎日通園されておられます。

窯業棟の開設によって、陶芸クラブができ、完成品を家庭で使用したり、販売したりすることを楽しみに意欲的に創作に励んでおられます。

また、身体的表現活動としてジャズダンスの講師をお招きし、利用者様は軽快な講師の動きを真似て楽しく踊り、心身のリフレッシュになっているようです。

健康維持・増進のために理学療法士が毎週定期的な訪問し、専門的立場から具体的に助言をいただき、利用者様への質の高い支援を行っています。

園外活動は、各利用者様のニーズに配慮されるように小グループで実施しております。行先や交通手段などを可能な限り自己選択自己決定し、社会体験や社会参加の機会が拡大するよう支援しているところですので。



立志を迎えて

第二コスモスサービス管理責任者

片平 俊史

第二コスモスが開所して、今年で十四年目(立志の歳)を迎えました。現在は、「生活介護・施設入所支援・短期入所(日中一時支援)をはじめとして、福祉有償運送・相談支援等の事業を展開しております。昨年よりスタートした相談支援事業は、多くの依頼に応えるべく、新たに相談支援専門員一名を配置して体制を整えたところです。

また、市育成会の会員の皆様のご要望や予想される需要の高まりを見据えて、新たなグループホームである「さくらホーム」を立ち上げ、運営の充実に努めております。



このように、新規展開や拡大する事業を軌道に乗せるように運営しながらも、やはり、入所されている利用者様の生活や将来のことが、一番の気掛かりであります。今後、高齢化に伴う健康面への迅速な対応・安全面への見守りの徹底、あるいは、生活の流れの見直しや個々に応じた支援への取り組み等々、直面する課題は多岐にわたります。

いつも利用者様への「様々な思い」は尽きないのですが、いつでも現実と向き合いながら、職員一同、心のこもった温もりのある支援に心掛けていきたいものです。

心をひとつに、力を合わせて

とまと サービス管理責任者

児玉 美智子

四月から新しいお仲間が四名増えて、さらににぎやかになり、活気みなぎるスタートとなりました。

利用者数が一気に増えた生活介護事業は、ふれあい館の二階に拠点を置いて、軽作業や制作活動を行ったり、リフレッシュ体操等の館内講座を活用したりして、皆様に興味を持って取り組み、楽しんでいただけるよう努めております。

就労継続支援B型事業は、第二とまとが、星ヶ峯一丁目に拠点を置き、箱折りやチラシ折り、帳合等を頑張っています。ゆうあい館の二階に拠点があるのぞみは、箸入れ作業を主に、カッパのシール貼り等も頑張っています。また公園清掃や館内清掃を行う際には、お互いに力を合わせて取り組んでいます。

居宅介護事業は、とまとの家として星ヶ峯一丁目(第二とまとと共用)に拠点を置いて日中一時支援と移動支援を行い、幅広い年齢層の方にご利用いただいております。日曜日や月曜日の移動支援も利用者様の人数が増えていきます。

このように、離れた場所で、それ

ぞれ活動していますので、なかなか全員がそろうことは、難しい面もありますが、プール活動、自治会やクラブ活動、レクリエーションや旅行、食事会等で交流を図って親睦を深め、みんなの心を一つにして、力を合わせ、より一層楽しく活気あふれるとまとをめざしています。

一歩一歩前へ

ふもと 生活支援員 山之内 暁

新体系に移行して三年目になりました。ふもと事業所は「大丈夫、楽しく、ゆつくりと」をモットーに毎日利用者様と一緒に、作業、創作活動、社会体験、ふれあい館清掃等をする中で仲良く、助け合い、笑い声が絶えない活動をしています。今年度五月から就労継続支援B型は東開町ふもとへ拠点変更となりました。利用者様も同じ空間を共有する時間が増えて、より結束が固まりました。送迎車も二台配備されて、利用者様全員で名前を付けて日々、快適で安全に送迎を開始することができました。新しく駐車場も完備され、小さな休憩スペースもできました。利用者様全員で考えて、そこを、「ととろのいえ」と名付けました。今は利用者様のニーズに少しでも対応できるように、一歩一歩前進して職員全員で一致団結して、支援に努めてまいります。

さくらホーム開所

グループホームコスモス

サービス管理責任者 川村 太介

平成二十六年四月一日、紫原の民家を借りて「さくらホーム」が開所しました。

定員は五人ですが、最初は利用者様三人でスタートしました。利用者様は、初めて親元を離れてホームへ来られた方や別のグループホームから転居されて来られた方たちで、お互いに顔を合わせるのもほぼ初めてで心配した部分もありましたが、みなさんのワクワクした表情や活き活きとした様子を拝見し、すぐに心配が安心と楽しみに変わりました。

今では、世話人さんともすっかり良好な関係を築かれており、温かいほんわかとした家庭の雰囲気からホームにはあります。

なお、現在入居を検討されている方もいらつしやることから、定員の五人になる日も遠くないものと期待しております。

これからも、利用者様がホームを自分の家として楽しく穏やかに過ごしてくださるよう、世話人さんと十分連携をとりつつ支援していきたいと思えます。

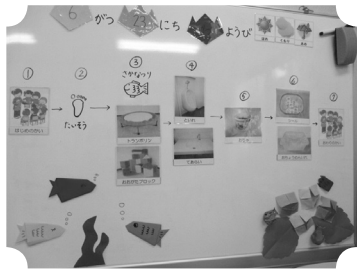


親子で一緒に

わくわくコスモス

保育士 米森 由紀子

多機能型事業所わくわくコスモスの児童発達支援事業が平成二十六年四月に開所しました。営業時間は、午前の部が十時から十二時、午後の部が十三時半から十五時半の二時間です。定員は十名です。大きな特徴として三つあります。一つ目は、親子一緒にの療育です。親御さんの見守る中で、子どもが安心して遊べるこゝとや子どもの困り感などを保育士と一緒に見て手立てを考えることができます。そして、子どもの発達について気になることなどを気軽に相談できる場にも役立てればと思います。二つ目は、弁当給食です。午前利用の場合は、お弁当と気負わずに、おにぎり好きなおかずを持ってきて、楽しく食べる体験をしたいと思っています。同時に、親御さんが作られた物を我が子が美味しそうに食べてくれる喜びも一緒に味わえると思っています。三つ目は、自然豊かな石谷町の住宅で、家庭的な温かい雰囲気を通して、子どもの発達に際して、様々な経験が増やせるように、丁寧な



療育に取り組んでいます。親子療育を行う中で、子どもの様子や成長を近くで感じて、笑ったり、喜んだりしながら、親子で楽しく遊べる場になれると嬉しく思います。

学びの場「鴨池すすく学級」

鴨池ボランティア

窪 マリ子

先日は、身に余る表彰を頂きましてありがとうございます。

ふれあい館ができた当初、ボランティア募集の記事がきっかけで、ふれあい館に出入りするようになった私です。遊ぼうクラブ、風船バレー、水泳など。楽しく遊ばせてもらった感じ。

そんな頃、出会ったお母さん方が、今は、ご自身のお子さん方は成長され、「すすく学級」の運営に、明るく、しっかり取り組んでいらっしやいます。そんな活動のお手伝いが、できる事が嬉しく、参加している私も、鴨池ボランティアの仲間です。立場は異なっても、そこに集うみんなが、多くの事を学ぶ場が「鴨池すすく学級」だと思っています。



※本年度の募集は終了しております。

集え「あゆみ会」

世話人 田畑 光一

健やかな成長を願って青年部として設立されたのが「あゆみ会」です。

現在は、男性十五名女性十一名(計二十六名)の会員ですが、保護者の方も多数参加されます。

会は、毎月、第三日曜日に行われます。主な活動は、旅行、スポーツ大会、お楽しみ会、クリスマス会など、活発な活動を展開しております。

因みに、昨年の一泊旅行はメデイポリス指宿でした。広大な敷地を散策、夜は一杯飲みながらの抽選会、部屋では皆集まっつての楽しい団らんでした。



活動には、毎回附属特別支援学校から二名、武岡台養護学校から三名の先生方が応援して下さいます。先生方からは、色々なお話が聞けてとても参考になります。

現在、「あゆみ会」では、このような活動を行っているのですが、今後を考えるとまだまだ大きな輪が必要です。学校を卒業された方の憩いの場として「あゆみ会」にご参加いただければ幸いです。

ぼくの仕事

わくわくコスモス支援員 山元 健太郎

わくわくコスモスで、働くようになりたかった理由は、昨年利用していたときに、年下の利用者の世話をしていた、楽しくて、時間が過ぎるのが早かったからです。家族や学校の先生に就職したいと相談して、高等部を卒業するまでに介護職員初任者研修と同行援護従事者養成研修の資格を取って、面接を受けました。合格したときは、とてもうれしかったです。

四月の最初のころは、仕事の流れが分からなかったけれど、今では、他の職員に一つ一つ聞かなくても、掃除やバス介助のときの座席決めなどのその日やる仕事の順番を自分で決められるようになってきました。

仕事は体力を使うのできついです。利用者みんなに素直に話を聞いてもらえたときは、とてもうれし、やりがいがあります。これからも、体調に気を付けて、少しでも利用者のみんなと楽しく過ごせるように頑張ります。



県障害者スポーツ大会

練習の成果

第二コスモス 谷川 英明 様

県障害者スポーツ大会の五〇メートルの部で銀メダルを取ることができました。これも職員と一緒に練習に取り組んだ成果と思います。今後職員と一緒に練習を頑張り、いいタイムが出るようにしたいです。また、全国大会も目指していきたくです。



全国を目標に

第二コスモス 北野 洋 様

県障害者スポーツ大会のボウリングの部に出場しました。練習の成果を出せたこともあり、2位という成績を取ることができました。全国へ行くの分かりませんが、行けたらうれしいです。



がんばった水泳大会

とまと 浅井 智之 様

県障害者スポーツ大会で青年男子自由形と背泳ぎに出場しました。背泳ぎでは、力が入りすぎて銅メダルでした。自由形では、伸び伸びと泳ぎ金メダルを取ることができました。みんなから「おめでとう」と言われ、とてもうれしかったです。



完結した大会

とまと 鶴木 一三子 様

県障害者スポーツ大会のボウリングの部に出場しました。施設の仲間や友達の応援もあり、三位という成績を取ることができました。来年も今年以上の成績を出せるよう、練習を頑張っていきたいです。



初めての金メダル

とまと 森山 哲 様

私は、ソフトボール投げ男性・壮年の部門に出場して、五三・四五メートルという結果で金メダルを取ることが出来ました。昨年の予選会では、四五メートルでしたが、それから練習を重ねて、八メートル以上も記録を伸ばすことができました。大会当日は、とまとのみなさんが応援に来て下さり、このような結果を出すことができて、みなさんに感謝しています。



開会式の様子

知的障害関係施設 親善球技大会



がんばりました!! 4月26日(土)



ねらいを定めています!!

活動紹介

第二コスモス(生活支援の様子)



希望の園(調理活動)



とまと(園外活動)



育成センターコスモス
(外部講師によるダンスレッスン)



ふもと(誕生会)



新任職員紹介

希望の園

- ・ 神 有香 (事務)
- ・ 岩崎 広之 (運転手)
- ・ 照内 寿二 (運転手)

育成センターコスモス

- ・ 濱田 絵美 (とまとより異動)

わくわくコスモス

- ・ 川原 正則
- ・ 草水 好江
- ・ 金谷 和喜
- ・ 益山 洋一 (運転手)
- ・ 小原 良子

第二コスモス

- ・ 横山 真悟
- ・ 室屋 良子
- ・ 有村 裕也

とまと

- ・ 大濱 真由美 (育成センターコスモスより異動)
- ・ 梅北 昌弘 (第二コスモスより異動)

計報

お悔み申し上げます。

- 南 小夜子様 (ふもと)
- 金丸 大展様 (第二コスモス)

平成二十六年度 下半期行事予定表

| 月 | 期日 | 行事 |
|----|--------|------------------|
| 10 | 12日(日) | ・ 一日レクリエーション |
| 10 | 25日(土) | ・ 創立50周年記念式典祝賀会 |
| 11 | 9日(日) | ・ 第3回わくわく福祉交流フェア |
| 12 | 13日(土) | ・ 創立50周年記念シンポジウム |
| 1 | 11日(日) | ・ 市育成会成人式 |
| 2 | 14日(土) | ・ 鴨池すすく学級閉講式 |
| 3 | 15日(日) | ・ あゆみ会閉級式 |

編集後記

平成二十六年度は、育成会創立五十周年を迎える年でもあり、各事業所でも、新規事業を含め各種の活発な取り組みがなされております。今回は、広報部全員で構成を考えた育成会の被表彰者の御写真、喜びの声などを、掲載させていただきました。

これからも会員の皆様に最近の情報、分かりやすくかつ的確にお伝えしていきたいと思っております。御多用中に、しかも短期間の中、玉稿をお寄せいただいた方々に、心から感謝を申し上げます。

